

2025年日本国際博覧会に関する特権・免除協定

背景

- 国際博覧会は、国際博覧会に関する条約（以下「国際博覧会条約」という。）に基づき開催されるものである。
- 博覧会国際事務局（BIE）は、国際博覧会条約に基づき設立された国際機関であり、国際博覧会条約の適用を監督・確保する責任を有している。
- 2018年11月にパリで開催されたBIE総会において、我が国が2025年国際博覧会の開催国となることが決定された。
- BIEから、国際博覧会の開催及びその準備に向けた環境整備として、参加する国・国際機関（以下「公式参加者」という。）、BIE等への特権・免除の付与等を規定した協定を締結するよう要望があり、交渉の結果、2022年2月15日に本協定に署名した。

主な内容

- 公式参加者の陳列区域代表事務所やBIEに対する法人税等の免除。
- 公式参加者の陳列区域代表事務所が輸入する博覧会関連物品に関する関税の免除。
- 公式参加者の陳列区域代表事務所の職員やBIEの代表者等に対する査証手数料の免除。
- 公式参加者の陳列区域代表事務所の職員やBIEの代表者に対して支払われる給与及び手当に対する課税の免除。
- 特権・免除の濫用防止。

早期締結の必要性

- 2022年後半以降随時、公式参加者やBIEの関係者が来日予定であり、また、2023年4月以降随時、公式参加者に対するパビリオンの建築用区画の引渡しが行われる予定であるところ、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）の開催に向けた環境整備の観点から、早期に本協定を締結する必要がある。



Bureau International
des Expositions

博覧会国際事務局（BIE）

- ◆ 現在の加盟国：170か国（アジア18、大洋州11、北米1、中南米29、欧州47、中東14、アフリカ50）
- ◆ 日本の加盟：1965年

2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）（概要）

- ◆ 開催場所
夢洲（大阪市臨海部）
- ◆ 開催期間
4月13日～10月13日
- ◆ 入場者（想定）
約2,800万人
- ◆ 会場建設費（想定）
最大1,850億円
- ◆ テーマ：いのち輝く未来社会のデザイン（Designing Future Society for Our Lives）
- ◆ サブテーマ：Saving Lives（いのちを救う）、Empowering Lives（いのちに力を与える）、Connecting Lives（いのちをつなぐ）
- ◆ コンセプト：People's Living Lab（未来社会の実験場）

